

第50回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月25日(水)	試合番号	B12	回戦	準決勝
種別	中学生	会場	サイデン化学アリーナ		

Aチーム			Bチーム		
東久留米西			戸塚		
得点合計	小計		小計	得点合計	
37	20	前半	11	31	
	17	後半	20		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

大会最終日男子準決勝。決勝に駒を進めるのはどの学校か大きな一戦である。スローオフは東久留米西。最初のシュートはセンター13番が素早い身のこなしからミドルシュートが決まる。お返しに戸塚も2番がシュートをするが、12番キーパーが好セーブをする。代わりに追加点を東久留米西が決める。戸塚が果敢に1対1を攻める東久留米西を抑えて、速攻につなげ2-2と同点にする。5分までに東久留米西のテクニクの前に5-2となる。東久留米西は高いDFでプレッシャーをかけミスを誘う戦略にでて、功を奏し6-2となったところで戸塚がタイムアウト。しかし戸塚は東久留米西の勢いを止めることはできなかった。10分に戸塚は7人攻撃を仕掛けるが、最初のプレーではミスから1点を献上してしまい、次は1点奪ったものの素早いリスタートから1点を奪われた。戸塚が11-7としたところで、13分03秒に東久留米西がタイムアウトを取った。22分には戸塚がスカイプレーを試みるがラインクロスとなる。20-11で前半を折り返す。

後半戸塚は7人攻撃からスタートした。サイドやミドルからのシュートを放った。守って速攻の東久留米西に対して、リズムを変えるべく6分19秒に戸塚タイムアウトを取る。戸塚は全員が動き東久留米西ゴールに襲い掛かるが、12番ゴールキーパーの好セーブが随所で光った。結局は37-31で東久留米西が決勝へと駒を進めた。

記載者名

宮田篤憲